

第5回 弁護士業務のIT化に関する業務研究会 ～クラウド案件管理サービス

若手会員総合支援センター副委員長 伊藤 敬史 (56期)

若手会員総合支援センター委員 後藤 大 (61期)

1 クラウド案件管理サービスとは

近時、新型コロナウイルスの感染対策の観点から、多くの事務所でテレワークが促進される傾向にある。そのため、弁護士が事務所外でもオンラインで案件管理ができたり、同僚弁護士や事務職員とオンライン上で案件管理の情報を共有したりするニーズは高まっている。

そのようなニーズを充たすものとして、クラウド案件管理サービスがある。サービスの内容は、提供する会社によって異なるが、顧客の情報の管理、タスク管理、経理処理、タイムチャージ計算、事務所内でのコンフリクト・チェックといった機能が中心となる。書式を提供するものも多い。

当センター環境支援部会では、このようなサービスを提供する各社にサービス内容等を調査してきた。その結果については、近日中に、当会会員向けの研修（業務研究会）でご紹介する予定である（執筆時現在日程調整中）。

各社のサービスには、それぞれ特色があるので、どのサービスを利用するかは、事務所の規模、予算、取扱分野、求めるサービスの内容などにより選択するのがよいと思われる。ここでは各社のサービスの特色を簡単にご紹介したい（なお、各情報はヒアリングを行った時点のもの）。

2 firmee

今弁護士がしている事件管理と顧客管理をそのままWebに持ち込むという設計思想のため、直感的にできる簡単な操作性に特色がある。30件登録まで無料。個人プランは月額4,980円（年契約の場合49,800円）。事務局アカウントは無料。書式あり。チャットツールを利用した細やかなサポートあり。

3 LegalWin

基本となる事件管理機能は入力効率と分かりやすさを重

視。プラスアルファの機能として、文書・通帳のOCR機能、記録の全文検索、訴状作成支援機能（請求の趣旨の参考例もひな形から入力可能）など。年契約の場合、1か月当たりの価格は、スタープラン1,480円、ベーシックプラン2,980円、プレミアプラン4,980円。

4 Armana

実際に入力する人の手間を軽減することを設計思想としている（入力補助が充実）。経営層の方が自分たちの事務所の状況を把握できるように、経営指標だけではなく、リスク管理ができることにも力を入れている。利用機能により料金変動。利用者1名当たり月額600円からフル機能で1万円。基本的に事務所内の全員が同じ機能のプランにする必要がある。

5 LEALA

世界で15万社以上が活用するクラウド案件管理システムSalesforceがベースであり、業務効率化や売上向上等の経営改善に強みがある。組織ナレッジの蓄積と活用や、業務フローの最適化、対応漏れを防ぐ自動通知機能など、弁護士および事務所としての業務品質と業務スピードの両立を支援。案件情報や対応履歴、ファイル、スケジュール、チャット、会計管理などあらゆる情報を集約。料金は非公開（要問合せ）。

6 loioz

シンプルな画面設計にこだわり、使いやすさ、見やすさ、日常的に利用する事務局が疲れなかにこだわっている。外部のカレンダーとは連携せず、独自のカレンダー機能を搭載しているため、依頼者のデータベース等ともスムーズに連携できるようにしてある。基本的にはPCでの利用を想定している。料金は1アカウント月額3,980円。